



第19週の発生動向 (2005/5/9~2005/5/15)

1. 咽頭結膜熱は、むつ保健所管内において引き続き**警報**が出されています。
2. A群溶血性レンサ球菌は、弘前保健所管内において再び**警報**が出されました。
3. 伝染性紅斑は、青森保健所管内において**警報**が出されました。

第19週五類感染症定点把握

疾患番号・疾患名	青森		弘前		八戸		五所川原		上十三		むつ		青森県計		増減数 (前週からの増減)
	数	定点	数	定点	数	定点	数	定点	数	定点	数	定点	数	定点	
(72) インフルエンザ	13	1.00	47	2.94	24	1.71	14	2.00	20	2.22	8	1.33	126	1.94	2
(60) 咽頭結膜熱	3	0.38	1	0.10							4	1.00	8	0.19	2
(61) A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	15	1.88	45	4.50	5	0.56	1	0.20	7	1.17			73	1.74	38
(62) 感染性胃腸炎	55	6.88	31	3.10	17	1.89	6	1.20	8	1.33	27	6.75	144	3.43	59
(63) 水痘	4	0.50	22	2.20	28	3.11	3	0.60	12	2.00	4	1.00	73	1.74	6
(64) 手足口病			2	0.20	5	0.56			2	0.33	2	0.50	11	0.26	7
(65) 伝染性紅斑	16	2.00			3	0.33			1	0.17	7	1.75	27	0.64	14
(66) 突発性発しん	5	0.63	4	0.40	1	0.11			2	0.33	3	0.75	15	0.36	-8
(67) 百日咳															0
(68) 風しん					1	0.11							1	0.02	1
(69) ヘルパンギーナ	2	0.25	1	0.10									3	0.07	1
(70) 麻しん(成人を除く)															0
(71) 流行性耳下腺炎	2	0.25	3	0.30	2	0.22	3	0.60	4	0.67	3	0.75	17	0.40	9
(73) 急性出血性結膜炎															0
(74) 流行性角結膜炎	1	0.50	1	0.33					3	1.50			5	0.45	1

保健所名	定点数				
	インフルエンザ (内科+小児科)	小児科	内科	眼科	基幹
青森	13	8	5	2	1
弘前	16	10	6	3	1
八戸	14	9	5	2	1
五所川原	7	5	2	1	1
上十三	9	6	3	2	1
むつ	6	4	2	1	1
合計	65	42	23	11	6

■ は警報 ■ は注意報 「空欄」: 患者発生数0

表 以外の感染症法対象疾患 (17年計には、今回届出された人数を含む)

- (14) 腸管出血性大腸菌感染症(三類全数把握疾患) 八戸保健所管内: 1人 (17年計 5人)
- (59) RSウイルス感染症(五類基幹定点把握疾患) むつ保健所管内: 1人 (17年計 18人)
- (82) マイコプラズマ肺炎(五類基幹定点把握疾患) 八戸保健所管内: 1人 (17年計 38人)

感染症の窓

伝染性紅斑

全国に比べ患者報告数が増加しています。特に青森保健所管内とむつ保健所管内が増加傾向にありますので今後の動向に注意してください。疫学状況: 5歳をピークとして、幼児、学童が好発年齢です。病原体: ヒトパルボウイルスB19です。臨床症状: 両頬の蝶形紅斑と体幹から手掌、足底にまで遠心性に広がる全身のレース模様の紅斑丘疹です。感染経路: 飛沫感染または接触感染による経気道感染です。治療: 対症療法のみです。

<感染症の診断・治療ガイドライン2004 一部転載>

